

なぜ、私たちは歩くのか？

——あなたも参加しませんか？

一九六七（昭和四二）年二月十一日に、「紀元節」復活に反対して歩き始めてから、毎月一回の平和行進を続け、今日で三六〇回、満三〇年を迎えました。この三〇年に、防衛予算は増強の一途をたどり、今では世界第二位となりました。日米安保条約の目的も、日本防衛からアジアへ、さらに全世界へと拡大されました。これら一連の軍事的情勢に代表される日本の歩みを心配して、私たちは「憲法を守る平和行進」を続けています。

「三〇年間もよく続いたね」と、言われる

そう言われても困るんだよ：：

戦争放棄が正しく守られ

国民主権が名実共に行使され

人権の尊さが人々の心に暖かく宿り

夢ふくらむ日本の未来が見えてくるまでは

歩き続けるしかないんだよ、君！

「歩いて平和が来るのかね」と、批判される

そう言われても困るんだよ：：

第九条が骨抜きにされ

防衛費は雪だるまのように増え

戦闘機やAWACSの爆音が耳をつんざき

子や孫たちの未来に暗雲が立ちこめる限り

じつとしてはいられないんだよ、君！

「三六〇回とは頭が下がるね」と、感心される

そう言われても困るんだよ：：

武器輸出国（死の商人）がある限り

世界が軍備（戦争の道具）を捨てない限り

人類の行く手に戦争の心配がなくならぬ限り

そうだ、人類がみんな仲良く手をつなぐまでは

感心していないで一緒に歩こう、君！

一九九七年二月九日（日）第三六〇回・憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会